

福祉文教常任委員会所管事務調査報告書

令和8年1月27日

別海町議会議長 西原 浩 様

福祉文教常任委員長 外山 浩 司

福祉文教常任委員会における所管事務調査に係る福祉文教常任委員会協議会の協議結果について、次のとおり報告します。

記

1 開催日時

(1) 第1回常任委員会

令和8年1月26日(月) 10時00分から

令和8年1月26日(月) 14時15分まで

(2) 第1回常任委員会協議会

令和8年1月26日(月) 14時20分から15時30分まで

2 開催場所

委員会室2・3

3 出席委員

外山委員長、横田副委員長、中村委員、田村委員、伊勢委員、吉田委員

4 欠席委員

貞宗委員

5 委員外

西原議長(10時10分から12時10分まで)

6 調査事件及び協議結果

(1) 町立別海病院の運営について(別海病院)・・・調査継続

ア 調査結果

・医師不足による入院患者数や外来患者数の減少が、町からの繰入金増加につながっているが、医局改革による派遣体制の変化、若手医師確保の難しさなどから、以前と比較して医師確保が困難となっており、収益減の解消はまだ時間を要するものと考えられる。

・大型投資を行い設置したMRI設備の活用率が低い状況にあることから、多く活用されることを期待する。

なお、必要に応じて読影を外注する場合もあるとのこと。

- ・町立別海病院経営強化プランの改定に当たっては、繰入額の減少対策もさることながら、診療科の縮小など、根室管内における病院の立ち位置を踏まえた今後の在り方も議論していく必要があると考える。

例えば、内科や小児科の充実に絞った運営方針とするなど、現状に即した計画とすることも検討してはどうか。

また、中核病院である中標津病院との役割分担を明らかにすることも今後必要になるのではないかと。

このことに関して、理事者同士で話し合いを行うことができれば、進展する部分もあると考える。

- ・産婦人科の医師確保等が困難で、町内でお産ができない現状にある。

仮に医師が確保されたとしても、出産件数が少ない現状では経営を圧迫することになることは、これまでの説明からも理解できるが、少子化対策の一助として、可能な範囲で構わないので、何らかの対策は講じてほしい。

(2) 小中一貫教育及び別海高等学校の魅力向上や支援事業について（義務教育学校の進捗状況について）（教育委員会）・・・調査継続

ア 調査結果

- ・義務教育学校について、他構想との整合性や、財源確保、複合施設としての活用方法などが課題とされた。

義務教育学校の建設に関しては、中央小学校の老朽化が発端となっており、学校は地域に必須の施設であることから、特に財源確保については、教育委員会としてその必要性を十分に強調し、確実に確保できるように進めていただきたい。

- ・次年度に義務教育学校2校の視察を計画しているとのことだが、地域住民や保護者も視察に参加させてはどうか。

同行者が教職員のみの場合、人事異動によって意見を出した方が建設時には不在となる可能性がある。

また、共通の視点で議論することが可能になることから、当委員会の同行についても検討していきたい。

- ・義務教育学校の建設というハード面も大切であるが、子供たちが、学びやすく、学校へ行くのが楽しくなるようなソフト面での取組も大切にしていきたい。

例えば、学年による45分授業と50分授業の違いに伴うチャイムの時間差に関する問題や、昼休みが十分確保される体制づくり、小学校高学年相当の学年がリーダー性を発揮できる場面づくりなど、細かくも重要な問題があると考えます。

- ・小中一貫教育の全国的な流れに基づき、9年間のカリキュラムなどが基本計画に示されているが、国の指針等に添うのみではなく、別海町の独自色を加えることも検討してはどうか。

(3) 地域住民の広域生活交通路線の確保について（ライドシェアの取組について）（保健生活部）・・・調査継続

ア 調査結果

・尾岱沼地区において、非営利団体が実施を予定している公共ライドシェアについて、4月までには運行を開始できる予定とのことであり、当委員会としても期待しているところ。

・今後、同団体において、運営費用や人員配置などに関する課題が出てくるとも考えられるが、その際は、町として可能な範囲で相談に乗る考えであることが確認された。

この事例は、他の地区の動きにも影響する可能性があることから、積極的に協力して進めていただきたい。

・地域公共交通計画の策定について、12月定例会における一般質問で言及された。

本件については、発言せざるを得ないタイミングだったと思うが、原則的には、重要な施策等があれば、先に担当委員会で示していただきたい。

(4) ごみ処理の状況について（保健生活部）・・・調査継続

ア 調査結果

・町のごみの減量化の方針に基き、今後の対策を積極的に進めていただきたい。

・今後、根室北部広域ごみ処理施設の基幹改良に伴い、焼却灰の増加が予想されることから、別海町一般廃棄物最終処分場における、延命化や新施設建設などの方針について注視していきたい。

・生ごみの減量化に係る機器購入助成については、当委員会又は予算決算審査特別委員会において追って確認していく。

7 その他

(1) 次回日程及び調査内容

2月18日（水）10時から

【福祉部】

- ・西春別ケアセンターかしわ野（現地調査）（10：50～11：50）
- ・別海町ケアハウスみどり野（現地調査）（13：45～14：45）
- ・その他報告事項（上記終了後、委員会室にて）

2月20日（金）全員協議会終了後から

【保健生活部】

- ・地域住民の広域生活交通路線の確保について（別海町地域公共交通会議の開催結果など）
- ・ごみ処理の状況について（ごみ処理手数料改定スケジュールなど）

【教育委員会】

- ・青少年問題協議会の在り方について（方向性や進捗状況など）